

## 芽室町ふるさと応援寄附金の運用状況公表(いただいた寄附金)

本町では、平成21年8月から施行された芽室町ふるさと応援寄附条例及び芽室町寄附金管理基金条例に基づき、毎年多くの皆様から寄附金をいただいています。

寄附金につきましては、寄附者の皆様の芽室町への想いを大切に、まちづくりに活用いたします。

### ●寄附金の受領状況(令和6年10月～令和7年3月までにいただいた寄附金)

使途希望区分	件数 (ふるさと納税以外分)	金 額 (ふるさと納税以外分)
農業・商工業の振興に関する事業	15,940件 ( 3 件 )	134,135,835円 (300,000円)
教育・文化の振興に関する事業	2,748件 ( 1 件 )	26,465,745円 (500,000円)
ゲートボール等のスポーツの振興に関する事業	193件 ( 0 件 )	1,977,000円 ( 0 円 )
子育て支援・青少年健全育成に関する事業	10,348件 ( 1 件 )	88,529,000円 (100,000円)
福祉・コミュニティ活動の推進に関する事業	1,178件 ( 3 件 )	11,914,100円 (210,000円)
公立芽室病院の運営に関する事業	1,034件 (11件)	12,419,459円 (1,084,159円)
自然環境・地域景観の保全に関する事業	3,578件 ( 0 件 )	35,911,600円 ( 0 円 )
その他の事業(上記以外の事業を指定及び一般行政振興)	9,575件 ( 8 件 )	114,982,335円 (5,119,300円)
合 計	44,594件 (27件)	426,335,074円 (7,313,459円)

※これまでにいただいた寄附金のうち、予算化されていないものは、すべて芽室町寄附金管理基金に積立てており、今後も大切に活用させていただきます。

### 芽室の歴史探訪

このまち大好き!

その118 「美生神社」  
(芽室町美生三線三十八番地)

「報国神社」  
(芽室町美生六線二十六番地)

めもろ歴史探訪会  
柳澤 正弘

#### 「美生神社」

美生原野に明治三十一年、最初の入植があり、その後十戸を数えた。  
三十四年秋、美生三線十四番地にささやかな神殿を造営して、伊勢神宮から天照皇大神の分霊を勧請して遷宮祭が行なう。美生神社の始まりである。  
三十八年には美生四線五十番地に西美生神社が創立された。  
昭和二年、東西美生部落が合併となり、百十五戸の大部落になる。  
両神社も合祀して五年、新たに神殿拝殿を現在地に落成、九月遷宮祭がおこなわれる。その後鳥居、社標、高麗犬、石灯籠等の寄進があり神域は整う。

#### 「報国神社」

大正十四年に報国部落が発足する。(その頃、芽室は二十四部の行政区に分かれていて、美生、報国は二十七部に属していた。)

昭和二年、神社の設立が望まれて美生六線二十六番地に美生神社の分社として建設をきめた。美生川付近より桂の太木の埋もれ木を探し出して神殿の材として使用して十一月に完成した。御祭神は天照皇大神。五十三年、開基七十周年事業で本殿、鳥居の改修を行う。平成二年には拝殿を兼ねたサヤ(屋根)を取り付ける。

#### 引用・参考文献

「美生神社御鎮座百年沿革史」  
平成十六年  
「報国開拓百年史」  
平成二十一年